

## 新しい 照明設置

# 神門通りの景観になじむ

神門通りに、南雲勝志氏デザインによる新しい照明の設置がはじまりました。どっしりとした質感を持ちながら、町並みにうまく調和したデザインとなっています。この通りの新しい景観資源として通りのみなさま、訪れる観光客のみなさまに親しまれることが期待されます。

照明の設置は1月17日現在で5基が設置を完了しており、2月中旬まで順次進められる予定です。

## 南雲勝志氏コメント

出雲大社に続く神門通りという場所性を考えるとデザインは単にカタチをつくる作業ではなかった。その存在や灯りが通りを歩く人々に自然と精神的な高揚感を与える要素になるべきで、それは街路灯という機能を超え、通りの風景や環境の一部になることでもあった。本物の素材を使い、



照明や鋳造の最新技術を駆使しながらも、過去から連続と続く信仰や願いに対し、やさしくそっと包み込むような懐かしい存在を目指した。

そんなデザインイメージやスケッチ、図面、そして原寸モデルや照明効果に至るまで地域の皆さんとの議論と検証を経て最終デザインが決定したことも、この地ならではの記憶に残るプロセスであった。この通りと共に100年後も生き続けることを願っている。



神門通りに設置された照明

## 神門通り魅りの会 年越しに『神門通り灯路』を実施

去る12月31日20時～1月1日3時の年越しに、神門通りの夜のおもてなし、夜の景観の演出として、神門通り魅りの会（代表 田邊達也氏）により、坂道部から北井食堂交差点にかけて行灯50個を並べる「神門通り灯路」が実施されました。これは現在、無電柱が進められていることから恒例の提灯が設置できないため、それに変わる演出として行われたものです。行灯は制作地から名前をいただき「出雲スサ行灯」と名づけられました。

今後は、行灯の数を増やして、5月の「出雲大社本殿遷座祭」をはじめ、祭事やイベントの際に実施していくことが検討されています。



行灯は須佐(出雲市佐田町)で制作



行灯が神門通りをやわらかく演出しました

